

さかき

No. 173

令和6年7月31日

議会だより



坂城小学校運動会



南条小学校運動会



町内3小学校150周年記念運動会

(関連記事4ページ)

村上小学校 運動会

第2回定例会

第2回定例会は6月5日から19日までの会期で開かれ、一般質問には9人が登壇した。

令和5年度の一般会計補正予算等の専決処分事項の報告を承認し、条例の一部改正、令和6年度一般会計補正予算など9件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決した。

物価高騰対応重点支援給付金、 定額減税調整給付金など 1億9,583万円を追加補正

専決処分を承認

坂城町消防団員 等公務災害補償 条例の一部改正

損害補償額の算定の基礎となる「補償基礎額」を改正した。

税条例の一部改正

個人町民税について、令和6年度分の個人所得割額から、納税者及び配偶者を含めた扶養家族1人につき1万円の減税を行う「定額減税」について規定の整備を行った。
固定資産税について、土地に係る固定資産税の負担水準の均衡化を促進するため、現行の負担調

整措置等を3年間延長し、木竹由来または農作物の収穫に伴って生ずるバイオマスで発電する、特定バイオマス発電設備に係る課税標準の特例を新設した。

国民健康保険税 条例の一部改正

後期高齢者支援金等課税限度額を24万円に引き上げた。

低所得者の負担軽減を図るため、軽減判定所得について、5割軽減の対象となる世帯の被保険者等の数に乘すべき金額を29万5千円に引き上げるとともに、2割軽減の対象となる世帯の被保険者等の数に乘すべき金額を54万5千円に引き上げた。



一般会計補正予算

5年度一般会計補正予算(第10号)は、地方譲与税、特別交付税の確定、町民税の最終見込みなどにより、7918万円を減額し、総額が74億8496万円となった。

特別会計補正予算

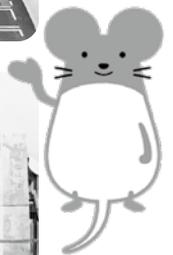
5年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)は、保険給付費等の減額に伴い、9345万円を減額し、総額が12億5750万円となった。

5年度介護保険特別会計補正予算(第4号)

は、保険給付費等の減額に伴い、8094万円を減額し、総額が13億6490万円となった。

5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

は、保険料の確定等により、596万円を減額し、総額が2億5040万円となった。



坂城町文化センターの今昔

専決処分とは？

議会の議決すべき条例や予算などについて「特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかな場合」などにおいて、町長が議会に代わって意思決定すること。

一般会計と

特別会計の違いは？

一般会計とは、地方公共団体において町民のサービスの提供を始めとする行政運営の基本的な経費(福祉・教育・土木など)を計上している会計です。

一方で特別会計は、事業目的を限定し、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けられる会計です。

坂城町では、6年度、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3会計があります。



令和6年度分

一般会計補正予算 (第1号)

国の低所得者支援及び定額減税とあわせて実施される物価高騰対応重点支援給付事業、子育て世帯物価高騰対応重点支援給付事業など1億9583万円を増額し、総額70億583万円とする。

国民健康保険 特別会計補正予算 (第1号)

6年12月2日以降、健康保険証の新規交付・再発行が終了し、従来の保険証から、保険証利用登録がされたマイナンバーカード(マイナ保険証)を基本とする国の法改正に伴うシステム改修等の経費について、195万円を増額し、総額を13億5641万円とする。

一般会計補正予算 (主なもの)

令和5年度

◆第10号(専決)補正額 **▲7,918万円**

歳出

- 保健福祉等複合施設整備基金への積立金 2億1,000万円
- 森林づくり基金への積立金 332万円
- 文化センター管理費 **▲4,596万円**
- 橋梁修繕事業 **▲2,915万円**
- 介護・訓練等給付事業 **▲1,954万円**
- 新型コロナウイルス予防接種事業 **▲1,821万円**

※各事業実績の精算に伴う補正

令和6年度

◆第1号補正額 **1億9,583万円**

歳入

- 国庫支出金 1億7,076万円
- 基金繰入金 1,769万円
- 町債(緊急自然災害防止対策事業債) 200万円

歳出

- 物価高騰対応重点支援給付事業 4,622万円
- 子育て世帯物価高騰対応重点支援給付事業 510万円
- 定額減税調整給付事業 1億1,943万円
- 鉄の展示館「坂城に華ひらく能装束展」 650万円
- 小型動力ポンプ更新等 消防施設経費 253万円

町道路線の廃止・認定・変更

県道坂城インター線の延伸に伴い、変更等を行う。



インター先線

この先、右折ご遠慮願います

～議会を傍聴してみませんか～

次の定例会は9月初旬
開会の予定です。

事前の申し込みは不要です。
当日議場(役場4階)へお越しください。

会議録は町のホームページから
ご覧になれます。

坂城町議会

検索



坂城駅とテクノさき駅に、
電動アシスト付自転車が配備されています。

第2回 定例会(6月)の審議結果

1 全会一致で可決された議案

(1) 専決処分

- ① 坂城町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ② 坂城町税条例の一部改正
- ③ 坂城町国民健康保険税条例の一部改正
- ④ 令和5年度補正予算
 - ・一般会計(第10号)
 - ・国民健康保険特別会計(第4号)
 - ・介護保険特別会計(第4号)
 - ・後期高齢者医療特別会計(第3号)

(2) 条例

- ① 坂城町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

- ② 坂城町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ③ 坂城町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

(3) 令和6年度補正予算

- ① 一般会計(第1号)
- ② 国民健康保険特別会計(第1号)

(4) その他

- ① 町道路線の廃止
- ② 町道路線の認定
- ③ 町道路線の変更

2 賛否が分かれた議案

(○は賛成、×は反対)

(議案名)		(議員氏名)	結果	中嶋	塚田	水出	宮入	中村	星	玉川	山城	柁津	大日向	朝倉	大森	滝沢
				登	舞	康成	健誠	忠靖	哲夫	清史	峻一	明子	進也	国勝	茂彦	幸映
意見書	地方自治法改正案に反対する意見書		可決	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	議長
賛成と反対が同数になったため、議長裁決により決定																長職

3 全会一致で否決された議案……なし

4 請願審査結果

	件名	提出者	付託常任委員会及び委員会審査結果	本会議における議決結果
請願	国に対し適格請求書等保存方式(インボイス制度)について直ちに見直しを検討することを求める請願書	品川フリーランスの会 坂城町会員 赤池 志麻 紹介議員 玉川 清史	総務産業 継続審査	/

表紙



6月1日(土)、町内3小学校では、創立150周年を記念した運動会が開催されました。

今年は、例年とは違う種目を取り入れたり、各校とも工夫が凝らされ、記念ムードを盛り上げていました。

運動会当日は青空が広がり、笑顔と歓声があふれる運動会となりました。

(文：山城 峻一)

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

工業振興

特区申請による用地確保を

事前の用地確保は難しい

問 坂城町は工業の町である。町が工業用地をあらかじめ確保しておくことは法的に難しいようだが、用地確保のため特区申請などの考えはあるか。商工農林課長 特区制度を活用するための特定事業一覧には、工業用地確保のために、農振法をはじめ各種法令の適用を除外する内容の特定事業は

答 鉄の展示館はオープンしてから20数年が経ち、日本刀の展示がメインで、坂城町の名誉町民第1号で、人間国宝の故宮入行平刀匠を顕彰する場でもある。施設の名称を「人間国宝宮入行平記念館」に変更すべきと思うが町の考えは。



人間国宝 宮入行平肖像画（鉄の展示館蔵）



中嶋 登 議員

問 鉄の展示館はオープンしてから20数年が経ち、日本刀の展示がメインで、坂城町の名誉町民第1号で、人間国宝の故宮入行平刀匠を顕彰する場でもある。

匠を顕彰し、後世まで伝えることは重要である。名称変更については、20年以上もの間「鉄の展示館」で親しまれてきた。今後も、この名がさらに広まるよう展示・企画を行っていく。

質問項目

中嶋 登 議員 5ページ

- ① 工業用地について
- ② 鉄の展示館について

大日向 進也 議員 6ページ

- ① 町のDX推進について
- ② 信濃村上氏フォーラムについて

朝倉 国勝 議員 6ページ

- ① 農業振興について
- ② 人口増加対策について

水出 康成 議員 7ページ

- ① 交通体系の整備について
- ② 防災体制確立について

玉川 清史 議員 7ページ

- ① 生活困窮者への支援について
- ② 災害対策について

柵津 明子 議員 8ページ

- ① デジタル教育について
- ② ふるさと納税について
- ③ 詐欺について

大森 茂彦 議員 8ページ

- ① 改正地方自治法について
- ② 町の今後の農業政策は
- ③ 介護保険事業は大丈夫か

宮入 健誠 議員 9ページ

- ① 工業の町「坂城町」について
- ② 大学との連携協定について
- ③ 安全な町「坂城町」について

中村 忠靖 議員 9ページ

- ① 町民の健康対応について
- ② 防災について

令和6年度の事業計画は

3事業を導入する



大日向 進也 議員

問 令和6年度実施計画で行われる3事業の内容は。

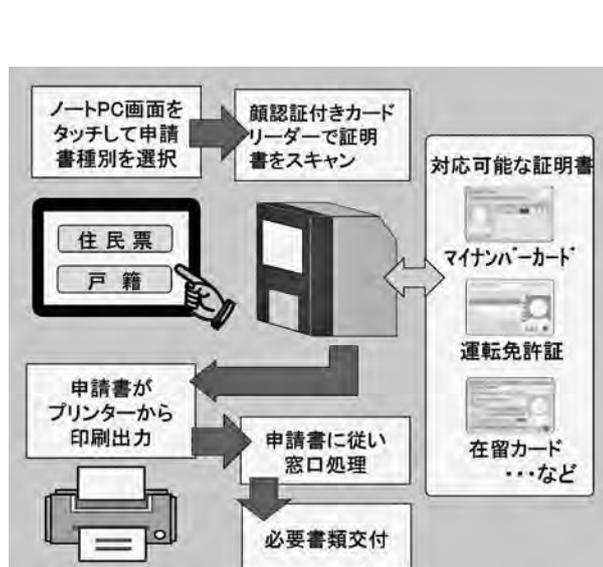
「公共施設予約システム」導入については、利用を希望する町内施設の空き状況が町ホームページ上で確認でき、そのまま予約が可能となる。「観光・文化デジタル化」は町内の観光施設と文化財の情報をマップ上

にまとめ、サイト内での検索を行い詳細な情報収集が可能となる。またGPS機能を搭載するため、実際に町を訪れた方が周遊される際に活用できるものとなる。

問 3事業の運用開始時期は。

企画政策課長 「公共施設予約システム」は令和6年10月。「書かない窓口」は6年11月。「観光・文化デジタル化」は令和7年1月からの運用開始を予定している。

企画政策課長 今年度実施される導入事業のうち、「書かない窓口」については、従来では各関係課に赴き、手書きの申請書類作成が必要であり、煩雑な手続きを行っていた。



書かない窓口 ※イメージ図

問 温暖化に対する現状認識は。

商工農林課長 近年は温暖化による農作物への影響が大きく、収量の減少や品質の低下が見られ、温暖化の進行や農業への影響を非常に危惧している。

問 温暖化に伴う農作物

障害への対策は。

商工農林課長 県の果樹試験場において、高温耐性のあるりんごの研究開発や、ぶどうにおける着色安定技術に取り組んでいる。今後、温暖化に適合する技術が整った際には、県やJAなどの関係機関と連携し対応していきたい。

問 民間の「人口戦略会議」が、2050年までに全国で744自治体が消

滅する可能性があることを公表した。我が坂城町も残念ながら、県内の消滅可能性自治体26市町村の一つとされた。早期に自立持続可能自治体へ仲間入りするための施策は。

町長 一面的な推計のみで消滅可能性自治体とされたことは大変残念である。今後も人口ビジョンにおける町の人口の将来展望を実現するため、長期総合計画などに基づき、住みやすい町となるよう取り組んでいきたい。

農業振興

温暖化に対する対策を
関係機関と連携していく

朝倉 国勝 議員



品種の移行が始まってきた（稲作）

地域交通

実運用に向けた料金体系は

利用料金は据え置く予定



水出 康成 議員

問 デマンドタクシーの実証実験が6年度最終年度となる。7年度循環バ

スとの併用実運用に向け、現状の課題と実施までの取り組みステップは。建設課長 地域公共会議や地域交通利用促進協議会におけるアンケート調査等には、新たな要望はないが、利用者の要望としてデマンドタクシーの

運行時間の拡大や料金の見直しがある。北陸信越運輸局等と協議し、適切な仕組みとなるよう努める。

問 諸物価高騰を受け、地域交通の料金が値上がり心配がある。料金のあり方について考えは。

町長 料金体系の検討はタクシー業界との共存含め必要であるが、本格運用の開始にあたり、料金は現状据え置きを考えている。

防災減災活動の充実を

問 昨今、避難所へのペット帯同避難も認められつつあるが、課題も多い。6年度の町総合防災訓練に含め、町民の理解や課題克服を進めたいが町の考えは。

住民環境課長 6年度は訓練のひとつとして、実際にペットとともに避難すること、専門家の説明や避難必需品の紹介ブース設置を計画する。ペット飼育者に参加を周知する。



坂城町乗り合いタクシー パスカード

自宅への持ち帰りは

避難所内での使用を想定

凝固剤トイレ



玉川 清史 議員

問 凝固剤式トイレセットを避難者が自宅に持ち帰っての使用も想定しているか。

住民環境課長 備蓄品の凝固剤について、各個人宅へ配布することは想定していない。まず、避難所での生活体制の確保に活用していきたい。町総合

防災訓練や出前講座などの機会にトイレの凝固剤を含め、家庭において災害の備えを周知していく。

災害関連死審査会の設置は

問 全国的には設置率が低く、被災者の生活再建に支障が懸念されているが当町はどうか。

住民環境課長 条例で「坂城町災害弔慰金等支給審査委員会」を置くことになっている。災害等の状況に応じてこの審査委員会を設置し、災害関

連死についても調査・審議をしていく。

生活保護が権利であることの周知と学校教育を

問 生活保護制度について町の周知方法と、学校の教育状況は。

福祉健康課長 制度の周知方法等、長野保健福祉事務所と相談をして検討していく。教育文化課長 学校生活全般で人権感覚を養えるよう努めている。



防災倉庫の調査（南条地区）

ICT教育

今後の進め方は

子どもが主人公の学びへ



赤津 明子 議員

問 デジタル化が急加速する中、今後ICTを活用した教育をどのように進めていくのか。
教育長 ICT機器を利用すること自体が目的ではなく、子どもが主人公となる学びとし「自らが選択し、考え、表現する」学習の中で、どの場面に



授業風景

においてもツールとしてICT機器が、活用されることを目指すべき姿と考えている。
「選択する」は、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断する能力が、生きる力を育成する上で重要と考える。
「考える」は、対話的、共同の学習を軸とした授業改善に取り組んでいく。
「表現する」は、一人一台端末の活用を進め、自らの考えを積極的にアウトプットすることを目指す。このような学びのあり方を、学校の垣根を超えて情報交換・授業研究などに取り組み、坂城町の学校全体で進めていく。今後町教育委員会では、学校職員会を中心とした授業改善、学びのあり方の研究を支援し、学校の要望も踏まえながらICT環境の整備を進め、GIGAスクール構想の実現に向けて取り組んでいく。



問 国連が提唱する家族農業は、地域の循環型経済と農業の再生産が容易なこと、輸送コストの削減と環境負荷の軽減、有機農業に適していること、SDGsの11項目の理念に合致すると考える。町の農業政策への位置付けは。
商工農林課長 より一層、希望を持って農業に取り組んでいける環境づくりに励んでいきたい。



大森 茂彦 議員

問 前回の一般質問で「有機農業の宣言を」の問いに、町長は「有機農業は非常に重要なテーマで、検討していきたい」。課長は「ホームページ、広報誌で理解促進に努める。県やJAなど、関係機関と連携して推進体制づくり

を進めていく」と答弁。この間、どんな取り組みをしてきたのか。また、有機野菜を学校給食で使うことで、地産地消と循環型農業振興を推進できないか。
商工農林課長 この間、先進事例の調査・研究等を

行ってきた。7月に開催される農業生産者の会議において、県の担当者による有機農業や認定制度の説明会を予定している。
学校給食への利用については、学校給食の食材として使用し、農家から給食センター等へ供給する体制ができています。自治体もあるので研究したい。

有機農業

今までの取り組みと今後は有機農業の説明会を行う

工業の町

テクノセンターの今後は ZEB化事業の推進を図る



最先端の検査機器（坂城テクノセンター）

問 さかきテクノセンターが目指す今後の役割は。

近年では、製造業企業においても持続可能な社会の実現に向けたゼロカーボン・脱炭素社会への動きが注目されており、テクノセンター



宮入 健誠 議員

商工農林課長 設立から30年が経過する中で、社会情勢や企業ニーズの変容に合わせ、支援の形も徐々に変化させてきている。

問 今後の展開は。

では、令和4年度から新たな支援事業として、県工業技術総合センターとの共同により、町内企業のカーボン排出量削減のための事業を展開している。また「さかきテクノセンターZEB化事業」を進め、テクノセンター建物の一次エネルギー消費量を25%以下に削減するNearlyZEB改修を行い、この改修前後に得られるデータやノウハウを町内企業と共有しながら、地域全体の脱炭素化を支援・牽引していく。

町長 町づくりや地域活動、生涯学習、教育、環境、産業等について有効的、効果的な事業を実施し、地域社会・地域産業の活性化を図るとともに、事業の精査・検証を行い、相互の連携を強化し、事業を展開していきたい。

町民の健康

带状疱疹ワクチン助成を

導入に向け進めたい



中村 忠靖 議員

で、助成導入に向けた検討を進めていきたい。

問 防災について

台風や集中豪雨の際における用水路の対応は。

商工農林課長 台風の接

問 県内の費用助成自治体及び町内医療機関の受診者数増加を受け、費用助成が必要と思うが町の考えは。

町長 带状疱疹ワクチンの予防接種に対する、自治体の公費助成の導入状況は、6年度は全国では約3分の1にあたる635市区町村で助成を行っており、県内では18の市町村で助成が開始されている。

こうした状況を踏まえ、重症化を予防するワクチン接種について、国や県の動向を注視する中



带状疱疹ワクチン費用助成を

近など大雨が予想される際には、水門管理者により事前に排水操作を行い、増水に備えている。また、突発的な集中豪雨の際にも、水門管理者が迅速に各水門を見回り排水操作を行い、増水した用水路から周辺への溢水被害防止に努めている。

今後も町内の防災上、重要な水門の自動化を進めるとともに、水門操作の「自動化」や「遠隔化」など情報技術を活用し、整備を進めていく。

水門の自動化・遠隔化

総務産業常任委員会



自動化への切替工事（鼠地区）

総務産業常任委員会は5月9日（木）に町内にある水門の調査を行った。始めに役場にて担当課より水門についての説明を受け、その後、町内にある防災上主要な水門の中の5箇所を視察した。坂城地区の前田川にある用水は、昨年の夏の大雨の際、水門が停電のため稼働せず、浸水被害が起きてしまった。その後、対策として非常用電源の

設置がされた。

中之条地区と小網地区にある水門は、すでに自動化されており、開閉にかかる時間や水の流れ方を確認できた。

鼠地区にある水門は、自動化への工事中であり、工事関係者の方に直接質問ができる貴重な場となった。

上平地区の水門は、自動化されていないが、現在、県営事業として工事を進めている段階である。

今回の現地調査で、水門の手动操作の大変さを痛感した。昨今は、短時間で大雨になることが多く、水門の管理はできるだけ早く、安全に作業することが求められるている。時間のかかる手動から早く自動化・遠隔化することが不可欠であると強く感じた。

（山城 峻一）

文化センター改修工事と 防災備蓄庫の状況確認

社会文教常任委員会



改修工事中の文化センター

社会文教常任委員会は5月14日（火）に文化センター1改修工事状況と町内防災備蓄倉庫3箇所を視察した。

文化センター1改修工事は、令和5年7月から行われ、6月中の完成予定である。

視察時の工事状況としては、耐震補強工事が終わり、内装工事が行われていた。中でも丸窓部分の耐震補強がしづらく、工事は大変であったようだ。1階大会議室は、特に音響に関して、改善を図った設計仕様として進めている説明があり、委員からは専門的な質問・

確認がなされた。

施設内容は大会議室、中会議室、多目的室、会議室（2室）、クラブ室（2室）と舞台控室が楽屋利用可能な2室へ改造されていた。

工事中のため、想像の域ではあるが、トイレや会議室なども間取りが大きく変わり、利便性が良くなると感じた。完成披露と利用が楽しみである。

次に、町防災備蓄庫設置場所として、南条の第3分団詰所横、村上第10分団詰所横、防災センターの備蓄状況を視察した。

保存食の備蓄は、町人口1万4千人の1割の3日分の食料を確保する方針としている。目標は12600食であり、現在備蓄数は14290食が確保できていることを理解した。

今後は廃棄を減らし、更新する工夫が必要であると感じた。

避難所のトイレ、生理用品、幼児むけ用品など備蓄量や内容は、今後改善が図られていくことを期待する。

（水出 康成）

政務活動費収支報告

政務活動費は、町政に関する調査研究等に資するために必要な経費の一部として、地方自治法の規定に基づき条例の定めるところにより交付されるものです。(月額5千円、年額6万円)

政務活動費の交付を受けた議員は、収支報告書を作成し領収書を添付のうえ、年度終了後、議長に提出しなければなりません。年間の交付額を上回った分は、議員の個人負担となり、残金が生じた場合は町に返還します。

令和5年度の政務活動費の収支報告は、以下のとおりです。

- 1 交付額** 820,000円
 R5年4月(5,000円×13名)
 R5年5月～R6年3月(55,000円×13名、40,000円×1名)

2 支出

項目	支出額(円)	備考
調査研究費	98,500	調査研究・視察
研修費	346,243	研修会参加等
広報・広聴費	63,690	議員活動の広報
資料購入費	581,440	参考図書等
合計	1,089,873	

支出額合計は議員から報告のあった支出総額です。
 そのうち、政務活動費交付対象額は787,968円です。



- 3 残余(返還額)** 32,032円



満開のばら祭り会場



ブラインドサッカー公開試合
 (びんぐしの里公園「すばーく坂城」にて)

議 会 日 誌 (主なもの)

- 4月**
- 2日 葛尾組合議会臨時会
 - 4・9・15日 議会報編集委員会
 - 19日 議会全員協議会
 - 22日 議会運営委員会
 - 24日 町例月現金出納検査
 - 26日 長野広域連合議会臨時会
- 5月**
- 9日 総務産業常任委員会(閉会中の調査)
 - 13日 上田地域広域連合議会代表者会
 - 14日 社会文教常任委員会(閉会中の調査)
 - 15日 北海道上富良野町議会視察来町
 - 20日 議会全員協議会
 - 23日 町土地開発公社理事会
 - 24日 上田地域広域連合議会臨時会 / 町例月現金出納検査
 - 25日 第19回ばら祭り開祭式
 - 27日 品川フリーランスの会請願
 - 29日 議会運営委員会
 - 30日 (公財)さかきテクノセンター理事会
- 6月**
- 1日 町内小学校150周年記念運動会
 - 5～19日 6月議会定例会
 - 21日 (公財)さかきテクノセンター評議員会
 - 21・27日 議会報編集委員会
 - 24日 第47回町民まつり実行委員会
 - 25日 町例月現金出納検査
 - 28日 町文化センター改修工事竣工式

わがまちのアイドル 第4回

＝ 坂城の子は坂城で育てる ＝

坂城町で生まれたお子さんをご紹介します。



～名前の由来は～

太陽のように明るく、元気で優しい子になってほしいと、名付けてくれました。

～好きな離乳食は～

ツナとひじきの炊き込みおかゆが大好き。おいしくて、パクパクすごい速さで食べちゃいます。

～好きなおもちゃは～

プーさんのラッパ。8か月から遊び始めて、3日で吹けるようになったよ。

～最近ハマっていることは～

カーテンやベビーゲートに隠れて、いないいないばあをすること。楽しくて、何度もやっちゃうんだ。

～坂城町でお気に入りの場所は～

子育て支援センター。
遊ぶものがたくさんあるけど、ボールプールが一番のお気に入りです。
お友だちと、これからいっぱい遊びたいな。

～パパママからの一言～

陽向のニコニコ笑顔と元気な笑い声に癒されています。
これからもたくさん遊んで、笑顔いっぱいの毎日を過ごしていこうね。



ひなた
三井 陽向くん
(10か月：新地)



平
和

平和について考えてみると「食」が重要な位置づけにあると思う。

そもそも「平」はみな平等を表し「和」は禾(穀物)と口で表され、穀物を口に入れること。皆が平等に食べられることが漢字でも平和を表していると思った。

そして、作り手の気持ち(相手を思いやる気持ち)が伝わると、思わず「おいしい」と顔がほころんでしまう。そんな状況に身を置けるときが、平和と言えるのではないかと考える。

幼少の頃(昭和40年頃)、家は貧しく米は供出し少なく、小麦粉が主食であり、母はすいとんやうどんをよくつくってくれた。「おいしい」と顔がほころんで、いたことを記憶している。高級店で横柄な対応を受けて「おいしい」とは感じない。貧しくとも、子供たちに何とか食べさせたい、母の心が質素な食卓を平和な食卓に変えていたのだと、今思う。

世の中の武力戦争も、敵対間の「おいしい」競い合いに変わることを願う。(水出 康成)

発行責任者 議長
議会報編集委員会

委員長 滝沢 幸映
副委員長 中嶋 登
委員 山城 峻一
委員 中村 忠靖
委員 水出 康成
委員 塚田 舞

滝沢 幸映
中嶋 登
山城 峻一
中村 忠靖
水出 康成
塚田 舞